

第一回九州幼稚園 連合大会を終りて

高 森 豊

第一回九州幼稚園連合大会は、熊本県を当番として秋晴れの十月十七、十八の二日間熊本市公会堂（第一日）及び熊本大学教育学部附属幼稚園（第二日）に於て左記要綱によつて開かれた。

一、趣 旨 九州地区幼児教育者の参集を以て幼児教育の全般につき深議研究し其の総意を結集すると共に社会の理解を深め幼児教育の振興を図る。

- 二、名 稱 第一回九州幼稚園連合大会
- 三、主 催 1、九州幼稚園連合会 2、熊本県幼稚園連盟 3、熊本県教育委員会 4、熊本市
- 四、後 援 熊本県、熊本県教職員組合、熊本市教職員

組合

五、会 期 昭和二十七年十月十七日十八日二日間
熊本市公会堂（十月十七日）熊本大学教育学部附属幼稚園（十月十八日）

六、會 場 市立五福幼稚園
附属幼稚園 実地保育会場

七、日 程

十八日	十七日		
土	金	9.00	
實地保育	開會式	10.00	
研究討議	研 究	11.00	
移動	記念講演	11.30	
報告會	レクリエー	12.30	
閉會式	シヨーン	1.00	
中食	食	1.30	
市内觀光	分科會	4.30	
幼兒画展	幼兒画展	5.30	

記念講演 幼児の遊びと体育

熊大助教 大崎サチエ先生

実地保育 附属幼稚園 五福幼稚園

幼児画展 熊本日新聞社三階

十月十七・十八・十九日

八、レクリエーション郷土藝術

九、市内観光 十月十八日 熊本城 水前寺

一〇、観光コース 〇大会終了後特別バスで案内致します

十月十九日(日曜日)

阿蘇登山―登山バスで日帰り

議事

大會議案

- 一、保育所と幼稚園の線をはつきりすること(鹿児島県)
- 二、入園希望者激増の状況に鑑み、幼稚園教員の為に幼稚園教育の課程を重視する様教員養成学校に要望するの件(大分県)

決議事項

- 第一議案に対しては
- イ、九州幼稚園連合大会の名に於て文部省、厚生省の両省に要請する。
- ロ、各県に於ても関係当局に要請すると共に放送機関

を通じて啓蒙する。

第二議案に対しては

各県の実情を調査して、教員養成機関に要望する。

× × × × ×

鹿児島よりの緊急勸議により宣言文起草が可決された

宣言

我が国に於て一般の幼児教育に対する関心が高まりつゝある時、九州幼稚園連合大会が結成され、その第一回の大会が教育界熊本に於て開催されるに当り、幼稚園の正しい使命と幼児教育の重要性を世に訴えろと共に九幼の結合を愈々強固にして幼児教育の充実に邁進する事をここに宣言する。

昭和二十七年十月十七日

九州幼稚園連合熊本大会

分科会

第一分科会

- 1、小学校との連関を密接にする方法如何 (鹿児島)
- 2、事務職員をおくの件 (長崎)
- 3、専任指導主事設置の件 (熊本)

第二分科会

(27頁へ)

次回開催地としては、神奈川県に予定された旨発表があり、敵爾と歓喜の雰囲気の中に閉会式が挙げられた。散会後は各宗派の保育関係者懇談会が夫々各本山に於て行われ、全国各地よりの入浴を機に久闊を叙しあい、大いに氣勢をあげた。

○第三日（十一月十日、月）リクリエーション

二日間の講習、協議会の日程を終え、第三日はレクリエーションとしてA班は京都市内近郊を、B班は桃山、奈良、法隆寺等をいづれも紅葉、黄葉に美しく彩られた名所旧蹟を観光バスで見学、一日を思い出深く楽しくすごした。

かくて、仏子愛育の聖業にたづさわる、幼稚園と保育園が一つに結びあい、感銘深き三日間も漸く終りを告げ、三々五々次の再会を約し、名残りを惜しみつゝ、京洛の地を去り行き、第二回全国仏教保育大会は多大の成果を取めて無事終了した。

（記録者 京都、神泉幼稚園長）

（23頁から）

- 1、幼児の言葉の指導の在り方（長崎）
- 2、幼児の社会性の導き方（リ）
- 3、幼児の行動観察記録の方法及記録簿について承り度し（長崎県）

第三分科會

- 1、我が国幼稚園の現状で自由保育をどの程度に取り入れてよいか（宮崎県）
- 2、幼児面の在り方（熊本県）
イ、見方 ロ、育て方 ハ、使用材料
- 3、幼稚園のカリキュラムは如何にあるべきか（佐賀県）

實地保育 大会をより有意義にする為に計画された実地保育は、各園に於て熱心な討議が行われ予期以上の効果をおさめることが出来た。

次期開催地 鹿児島県に決定

幼児畫展 大会期間中、熊本日々新聞社三階に於てアルゼンチン幼児画と共に、県下の幼児画展を開催した。参会者参百名をこえ盛会裡に会を閉じた。散会後市内觀光、翌十九日の阿蘇觀光（希望者）も晴天に恵まれ楽しい一日を過して大会の思出を深くした。

（熊本県幼稚園連盟会長）